### 〇 東京都教育委員会目標

# 〇 本校のグランドデザイン

#### **<スクール・ミッション>**

大きく変化する今日の経済社会において主体的に生 き、国際社会において通用する人材の育成を目指し、 英語の「多読・多聴」やプレゼンテーション能力の育 成等の教育活動を通じて、基礎学力と教養を身に付け、 グローバル社会で、主体的、協働的に問題を解決し、 予測不能な時代を生き抜く人材を育成します。

#### 教育目標(本校が定める Vision 及び Mission)

O Vision (本校の存在意義)

変化し続けるグローバル社会において、主体的に生き抜くために必要な、基礎的な知性と素養をもつ人 材を育成する。

#### O Mission (本校の使命・役割)

- 1 異なる価値観を認め合い尊重する心、思いやりと規範意識を育む。
- 2 国際人として活躍するための学力と教養を育む。
- 3 ビジネス社会に貢献できる職業人としての資質・能力を育む。
- 4 自らキャリア設計を行う意欲、生涯にわたり学び続ける意欲を育む。



現点	中期的目標と方策	<u></u> 今年度の目材 (1)教育活動の目標と方策	票と万策 │       (2)重点目標と方策
	<ul> <li>○ビジネス・コミュニケーション科の特色ある学習 指導の実践</li> <li>・英語教育推進校としての活動実施</li> <li>・ビジネス科による特色ある授業・活動の実践</li> <li>○社会で求められる基礎的な知識、技能を習得させるとともに、思考カ・ション能力、 プレゼンテーション能力を高める</li> <li>○多様な方法による学習評価の組織的・計画的に改善を図り、適切に実施する</li> <li>○課外活動への積極的な参加を促進し、すべての教育活動において主体的な取り組みを推進する</li> <li>○地域・企業等と連携した教育活動を展開する</li> <li>○総合的を探究の時間は、3学年「課題研究」で代替し、総合的・学際的な内容を扱い、キャリア教育や国際理解教育との関連を図り、ビジネス教育を通して総合的な学力や身に付けることを目的とする</li> </ul>	①コミュニケーション能力育成教育の推進 ア 読書活動を推進する。 イ 新聞を活用した授業を実践する。 ウ 各教科及び教科横断等による校内プレゼンテーション大会等の充実及び外部団体等が主催する各種コンクール等への積極な参加を推進する。 ②Global Education Network School Premier 指定校としての活動の充実 ア 多読・多聴の充実等、英語を英語で理解する教育方法を実践する。 イ 英語関係資格取得・スコアアップを推進・支援する。 ウ 英語による校内発表機会の充実及び都商研、高英研主催をはじめとする各種コンクール等に参加する。 エ 長期休業中の海外語学研修や海外ビジネス研修を実施する。 ③ビジネス科による特色ある教育活動の実践 ア 外部の各種関係機関等との連携・協働を図り、体験的な学習を推進する。 イ ビジネスプランニングに関する校内発表の充実及び企業、各種団体主催の各種コンクール等へ積極的に参加する。 エ 課題研究、情報処理の内容の改善・充実を図るとともに、プログラミング教育を導入する。 ④学カ向上、進学対策のための指導の充実 ア 各教科及び教科横断的なテーマによる探究的な学習プログラムを開発、導入、または継続実施する。 イ ICTの活用を一層推進し、個人端末を効果的に活用する授業を展開する。ウ 補習・講習の一層の充実を図るとともに、家庭学習を習慣づける。 エ 各種の探究活動や発表活動等を有機的に連携させるとともに、探究・発表活動について在学中に育成する能力を段階的に明確化する。	(ア)文科系大学進学に特化することを前提として、学校設定科目を含め近切な選択科目を設置し、生徒の能力、適性、興味・関心、希望に応じた進路に対応できる教育課程を編成し、学力向上を図る。 (イ)学習指導要領に従い、授業計画・授業確保を行い、生徒による授業計価結果を基に校内研修や教科会を行い、授業改善を進める。 (グ)ICT機器の活用、朝読書、多読・多聴、レシテーションコンテストブックトーク、ブレゼンテーション等を通して、読書活動を推進し、言語活動の充実を図り、表現力を高める指導を実践する。 (エ)第2学年以上の「国語」及び全学年「英語」において、習熟度別授業を実施する。 (が)第2外国語やコミュニケーション能力を養うため、英語に関する集で学習を実施する。 (が)第2外国語やコミュニケーション能力育成の為のプレゼンテーションなど、時代に適合した学校設定科目を設置し、国際社会で通用する基礎力を育む。 (土主権者教育を一層充実させ、他者と協働してより良い社会を形成する力の育成を図る。 (ア)土曜日・日曜、休日、長期休業日中における各教科の補習、資格取得に対応した講習及び進学希望者向け講習等の充実に努める。 (ア)共産日・日曜、休日、長期休業日中における各教科の補習、資格取得に対応した講習及び進学希望者向け講習等の充実に努める。 (ア)共産日・日曜、休日、長期休業日中における各教科の補習、資格取得に対応した講習及び進学希望者向け講習等の充実に努める。 (ア)共産日・日曜、休日、長期休業日中における各教科の補習、資格取得に対応した講習を充実する。 (エ)探究活動においては、生徒が自ら課題を見付け、学び考え、更に主任的に判断し、よりよく問題を解決できる資質や能力を育成するとともに、自己のあり方生き方を考える力を年間を通じて養う。
生 舌 指 尊・建 東 づく り 一 (	○規範意識を向上・定着させるとともに、基本的生活習慣を確立させ、ボランティア精神の醸成と社会人として必要な資質・能力を育成し、マナー遵守の意識と実践力を高める ○生命尊重・他人を思いやるこころの育成に取り組み、安心・安全な学校生活を確保し、いじめ・暴力行為・自殺等の未然防止に努める ○全教職員で交通安全・遅ずの徹底を図る ○SCや外部機関との連携を強化し、教育相談体制と支援内容および特別支援教育の理解と啓発を図る ○生徒の健康状況の把握に努め、保健指導の充実と健康管理の徹底を図る ○生徒の健康状況の把握に努め、保健指導の充実と健康管理の徹底を図る ○生徒の健康状況の把握に努め、保健指導の充実と健康管理の徹底を図る ○学習指導、学校推薦型選抜等を含め、面接やプレゼンテーション、小論文による選抜に対応し得る能力を高める ○学習指導、進路指導等を中心として個別指導や支援を充実する ○発表やプランニングの機会を充実させ、思考力や	①社会生活における基本的なルールやマナーを徹底する ア 授業時間の確保、始業・終業時刻の厳守及び組織的・計画的な遅刻防止指導を実施する。 イ あらゆる教育機会を利用した挨拶の励行及びマナーを遵守する指導を徹底する。 ②生命尊重の教育の推進 ア 特別支援教育推進委員会やいじめ対策委員会等を活用したスクールカウンセラーとの連携強化及び教員研修の実施、教員間の情報共有、問題行動等に対する早期対応を実現する。 イ SCによる1年生全員面接、外部講師を招聘した各種の生徒向け講演会を実施する。 ウ 多様性を認め、個の能力を伸長させるとともに、尊重し合う指導を徹底する。 ③生徒の健康づくり、体力向上、安全管理、環境美化の徹底 ア 生徒の健康が況の把握に努め、保健指導の充実と健康管理の徹底を図る。 ①大学等受験対策の充実 ア 面談週間の設定。 イ キャリアガイダンスと選択科目履修指導の徹底。 ウ 全教科の教員による論文と面接指導の実施。 エ 受験科目の補習実施。 オ 担任団と進路指導部の連携強化。	(サ)生徒一人一人に対する理解を深め、生徒相互の適切な人間関係を構築するとともに、家庭、エリアネットワークなどの地域や関係機関との連携を密にし、特別支援コーディネータ、スクールカウンセラーを中心とした特別支援教育会議の定期的な実施など、組織的な支援体制を確立する。 (ジ)道徳教育を充実させ、生徒自身の規範意識を高め、規律と節度のある意欲的な高校生活を充実させ、健全な生活態度の育成を図る。 (ス)警察等関係機関と連携してセーフティ教室、薬物乱用防止教室等を実施し、生徒の健全な心と身体の育成を図る。また、消防等地域の関係機関と連携し、防災訓練や避難訓練、防災講話等を実施し、防災教育を推進する。 (也東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査に基づく適切な指導を行い、体力向上を図る。 (ツ)文科系大学進学に特化することを前提として、生徒の能力、適性、興味・関心、希望に応じた進路に対応できる進路支援を行う。(タ)大学と連携し、学生による進路指導支援を受け、生徒の自己実現に向けた進路指導を充実させる。 (チ生が希望する大学等への進学に向け、多様な入試方法に対応した個別指導を全教員で行う。
背幕 一 特別舌	想像力、表現力を育成する  ○部活動加入率の向上及び満足度の向上を図る ○運動部・文化部への加入率をあげ、部活動や委員会活動に積極的に参加させ、学校への帰属意識を高める ○体力・知力と異文化への理解力を向上させる ○持続可能な社会づくりに向けた教育(SDGs)を推進する ○生徒が主体的な学校行事や部活動の一層の活性化を図り、育成する	カ 中堅大学以上大学受験者への指導教員による論文・面接指導の徹底。 キ 学力受験の奨励。 ②キャリア教育の充実 ア ビジネス社会で求められる規範意識及び自他を尊重する姿勢と適切なコミュニケーション能力を持つ人材の育成。  ①部活動の活性化 ア 部活動加入率の向上及び満足度の向上を図る。 イ 部活動、課外活動としての国際理解、国際交流等生徒が主体的に実施、参加に関する活動を充実させる。 ②学校行事、課外活動の活性化 ア 学校行事の実施の有無及び実施内容、実施方法を含め、コロナ後の在り方を検討し、充実を図る。 イ 地域・企業等の外部関係機関と連携し、外部人材の活用と体験的な学習を推進するとともに、ボランティアマインドを育成する。	(ツ)生徒が自己理解を深め、将来を見通して活力のある生き方を考え、己の能力の限界に挑戦するとともに、望ましい職業観・勤労観を身つけることが出来るよう発達段階に応じたキャリア教育を充実させる。 (デ)ホームルーム活動で自殺防止 DVD の活用等を通じ、いじめ防止の進や自殺予防対策に関する取組を徹底し、自分を愛し、自分の命を切に、他人の命の重さを自分と同じように大切にできる生命尊重の育や道徳教育の推進を図る。 (ト)学校行事を通じ、学校やクラスへの帰属意識を高めるとともに、健な社会生活を送るための基礎を身に付けさせる。 (ガ)部活動での生徒の主体的・自発的な活動を通じて個性を伸ばし、知性・体力の向上を図り、心身の調和のとれた発達と人間性豊かな生態度を育てる。
助	<ul> <li>○地域貢献活動の充実を図り、生徒の成長を促すとともに地域に根差した学校づくりを推進する</li> <li>○平和教育・環境教育を推進する</li> <li>○本校の教育について、WEB等の情報発信を活性化させ、中学生、保護者、中学校、学習塾等の関係者の理解を深め、本校を第一志望とする応募者の増加を図る</li> <li>○学校見学会・説明会の内容を工夫するとともに効果的な中学校訪問、学習塾対策等を実施する</li> <li>○効率的で効果的な校務運営を実現する</li> <li>○効率的で効果のなを務運営を実現する</li> <li>○地域に愛され、都民に必要とされる明るい開かれた学校風土の醸成</li> <li>○高い倫理観をもち法規法令の遵守ができる教職員集団を目指す</li> <li>○働き方改革、ライフ・ワーク・バランスの推進に積極的に取り組む</li> <li>○経営企画室からは行政系職員から見た教育活動</li> </ul>	③国際理解教育の充実、海外学校間交流推進校事業 ア 英語を活用する宿泊行事、TGG利用、学校交流、大使館等との連携を計画・実施する。 イ 日本の伝統文化の理解教育を推進する。(「平安装束を着る会」や「百人一首大会」)  ①広報活動の充実 ア ホームページ等、情報発信の充実と適宜更新を図る。 イ 学校説明会(オンラインを利用したものを含む)・体験授業・体験部活動の開催、塾訪問・中学校訪問・出前授業を積極的に実施する。 ウ 広報活動への生徒の参加を促進する。 エ ビデオによる情報発信を一層充実させる。 ①経営企画室と職員室の連携強化 ア 教職員との連携により、効率的・効果的で、緊急時に柔軟に対応する予算編成及び適切な執行管理を行う。 イ 施設設備の定期的な安全点検・安全管理及び迅速な修繕の徹底を図る。ウ 自律経営推進予算・学校徴収金会計について適正な計画を立案し、計画的・効率的な予算執行と会計処理を行う。 エ 節電等の省エネルギー・資源リサイクル化を推進する。 ②服務事故の防止	(ご)生徒会を中心として、地域行事やボランティア活動を行い、地域とは連携を図る。 (双)安全に関する教育と防災教育の充実を図り、安全意識を高め、自助社会へ貢献できる資質を養う。 (初学校 2020 レガシーとして、豊かな国際感覚やボランティアマイドの醸成を図る。 (グ)地域との連携や外部講師を招聘し、国際的な企業経営や経済活動にする講演会を実施する。 (グ)ボームページの随時更新に努め、積極的に本校の情報発信を行う。 (佐)授業公開日、学校説明会、中学校・学習塾訪問等の実施方法を工夫る。 (アンスコミの活用、学習塾および中学校の強化対策地区を設定するなど、効果的で組織的な広報・募集活動に全教職員で取り組む。 (本)業務分担の適正化、会議の時間短縮など業務の効率化を図り、時間、勤務の軽減に取り組み、教職員の在校時間を縮減する。 (本)業務分担の適正化、会議の時間短縮など業務の効率化を図り、時間、動務の軽減に取り組み、教職員の在校時間を縮減する。 (本)業務分担の適正化、会議の時間短縮など、対策地区を図り、時間、動務の軽減に取り組み、教職員の在校時間を縮減する。 (本)単校加入の連絡配については、100%執行し、センター執行を受け、100%以上とする。 (本)節電等の省エネルギー・資源リサイクル化を推進する。 (本)学校加入の連絡配信システムへの登録を生徒、保護者とも100%。

※重点目標達成のための具体的数値目標は次ページ

\* 本校の学校経営や、生徒に役立つ方策等については、年度途中でも更新・推進する。

③ライフ・ワーク・バランスの推進

分掌内の情報共有及び分掌単位の校務運営により、業務を共有する。

\* 表中の丸数字や()に順序性や関連性は表していない。

## 【重点目標達成のための具体的数値目標】

数値目標	具体的な数値目標	成果 ( )内の数値は令和6年実績
重点目標達成のための数値目標	接業満足度(生徒)     基礎的検定合格率     各 80%以上	<ul> <li>·授業満足度(生徒) %(85.4)</li> <li>·基礎的検定合格率 %(93.4)</li> <li>情報処理 %(72.2)</li> </ul>
	<ul><li>図書室貸出総数</li><li>2,500冊以上</li></ul>	• 図書室貸出総数 冊 (2,023)
	<ul> <li>・中退者数 5人以下</li> <li>・特別支援委員会開催回数 学期に2回以上</li> <li>・生徒事故件数 0件</li> <li>・年間遅刻延べ回数 1日平均10人以下</li> <li>・生活指導満足度(保護者) 90%以上</li> </ul>	・中退者数       人(4)         ・特別支援委員会開催回数       回(10)         ・生徒事故件数       件(0)         ・年間遅刻延べ回数 1日平均       人(13.1)         ・生活指導満足度(保護者)       %(89.1)
	<ul> <li>難関私立大学現役合格者数 5人</li> <li>・私立大学現役合格者数 15人</li> <li>・就職者 希望者100%</li> <li>・進路決定率 100%</li> <li>・大学・短大等進学率 65%以上</li> </ul>	<ul> <li>・難関私立大学現役合格者数 人(1)</li> <li>・私立大学現役合格者数 人(6)</li> <li>・就職者数 希望者100%</li> <li>・進路決定率 %(95.5)</li> <li>・大学・短大等進学率</li> </ul>
	7(3 /4)(3/4)	四大 % (64.6) 短大 % (6.1) 専門 % (15.9) 就職 % (7.9)
	<ul><li> 進路指導満足度(生徒) 90%以上</li><li> 進路指導満足度(保護者) 90%以上</li></ul>	<ul><li>・進路指導満足度(生徒) %(88.8)</li><li>・進路指導満足度(保護者) %(91.0)</li></ul>
	<ul><li>・部活動加入率 70%以上</li><li>・部活動満足度(生徒) 80%以上</li><li>・地域貢献活動 年間 5回以上</li></ul>	・部活動加入率       % (50.2)         ・部活動満足度(生徒)       % (71.3)         ・地域貢献活動       回 (20)
	・中進対倍率       1.00 倍         ・推薦応募倍率       1.2 倍以上         ・一次応募倍率       1.0 倍以上         ・学校説明会等対応者数       500 組入以上         ・ホームページ更新回数       100回以上	・中進対倍率       倍 (0.68)         ・推薦応募倍率       倍 (1.13)         ・一次応募倍率       倍 (0.77)         ・学校説明会等対応者数       組 (357)         ・ホームページ更新回数       回 (115)
	・一般需用費のセンター執行割合 60%以上	<ul><li>・一般需用費のセンター執行割合 %(65)</li></ul>